

# 北広島環境市民の会だより

代表 松田従三

(13-3)

2013年11月5日

事務局

TEL&Fax375-425



## 恵庭はなぜ生ごみ収集率が北広島の2倍？＝バイオガス化施設を見学＝

人口が約6万8000人で北広島（6万人）とほぼ同じ規模の恵庭市。分別収集も、下水終末処理場を利用したバイオガス化処理施設もよく似ているのに、恵庭の生ごみ収集率は約75%で北広島の40%の約2倍です。隣まちなのに、なぜこれほどの差が生まれているのか。北広島環境市民の会は8月23日、恵庭のバイオガス施設を見学し、担当者から話を聞きました。

### ★個別収集

北広島との根本的な違いは個別収集でした。ごみステーションに近隣の人たちが持ち寄るのとは違って世帯ごとに集める方式だと、分別方法を間違えて普通ごみに混ぜて出した場合は指導を受けます。ごみステーション方式の北広島だと、埋め立て用のピンクの普通ごみ袋に生ごみを入れても誰が出したのか分かりません。モラルや意識の低さが、結果的に生ごみを埋め立て処分地に運ぶ事態を招いています。

### ★事業所からの搬入

もうひとつ大きな違いは、事業所からの生ごみの収集量が多いことです。恵庭市は事業所に積極的に働きかけ、個別搬入も受け入れています。一方、北広島市では、事業所は生ごみをバイオガス化施設に出すと料金が非常に上がるという経営上の事情などから他の方法で処分していて、収集量が極めて少ない状態が続いています。北広島の事業所から出ている生ごみは、バイオガス化されたり堆肥になって資源としてよみがえることもなく、一般廃棄物あるいは産業廃棄物として埋め立てられているものとみられます。

### ★広報

恵庭市で印象深かったのは、生ごみ収集がどれくらい経費節減につながるかを具体的な金額を示して市民に伝えている取り組みでした。バイオガス化した場合の経済効果や分別の徹底によって埋め立て処分場の延命期間が延びるとどれだけお金が浮くかを、年2回発行の「ごみ情報誌」や広報誌に載せて配布しています。

バイオガス化施設の北広島との違いは、バイオガスで発電もしていることでした。施設の電気量の3分の1が発電でまかなわれています。

### ★打開策が必要な北広島

個別収集に切り替えると多額のお金がかかるといわれ、北広島市は慎重にならざるを得ない面があります。しかし、恵庭との収集率の違いは歴然としています。たとえば試験的に個別収集をするモデル地区をつくるような打開策を試みたり、同じごみステーション方式を取っているのに分別収集がほぼ100%の富良野市を参考に施策を検討するなどをしなければ収集率の低さは改善されず、全国に誇るバイオガス化施設「あしる」は今後も「宝の持ち腐れ」と揶揄されかねません。

	恵庭市	北広島市
収集方法	個別収集	ステーション方式
家庭から出た 生ごみ収集量(H24年)	2586トン	1,473トン
事業系から出た 生ごみ収集量(H24年)	1,304トン	5トン
生ごみ収集率 (計画に対して)	75%	40%

恵庭市のバイオガス化施設見学で担当者から詳しい説明を受けました



## 東共栄のエコ農園に注目・・・今年も市民リサイクル見学会

市民リサイクル見学会を8月27日に行いました。クリーンセンターと東共栄エコ農園、そして生ごみバイオガス化施設の3か所を回りました。参加者は環境市民の会会員、市役所職員を含めて29人。このうち大曲地区からは8人が参加しました。

その大曲からの皆さんが感心したのが、環境市民の会と地元町内会で共同運営している東共栄エコ農園でした。農園は、環境市民の会会員で幹事の古川徳一さんの仲介で土地所有者の了解を得て空き地を活用しています。生ごみを会員と町内会の人たちが持ち寄って堆肥をこしらえ、トマトやイチゴを栽培しています。「近所の結びつきが生まれる」「できれば自分たちの町内会でもやれないか」と好評でした。



東共栄エコ農園に関心が寄せられた市民リサイクル見学会

8月24日にはトマトの収穫祭も行いました。  
参加10人

## 東共栄エコ農園を 保育園の子ども達が訪問 (8/29) みんなでトマトを収穫しました。



## 「答申の検証を行って」 懇談会で上野市長に要望

上野市長との懇談会を9月24日に市役所で行いました。

市長に対し、クリーン北広島環境審議会が昨年3月に最終処分場の延命化に向けた取り組みに関して答申しているのに、その答申に基づいて策定された一般廃棄物処理基本計画の進捗よく状況が明らかにされていないと指摘し、検証を求めました。

また、生ごみの分別収集が一向に改善されていない現状について、会としても市に協力できることがあれば協力したいと伝えました。上野市長は「ごみ分別のPR方法について、こんなのがいいというのを考えてもらえれば」と答えました。

市役所建て替えに伴う市民の会の事務所存続問題については、難しく約束はできないと述べました。

環境市民の会からは松田代表、林副代表ら9人が出席しました。

### 会の事務所その後

交渉の結果、来年の12月まで使用を認めていただきました。

その後はどうするか考えなくてはなりません。アイデアをお寄せ下さい。

## 生ごみ堆肥体験交流会



家庭で生ごみの堆肥化を進めている市民のみなさんの体験交流会を10月17日、中央会館で開きました。当日は台風被害が各地で起きた翌日だったためか、会員を含めても参加者数は7人とどまりました。

参加した一人、高台町の中川原修さんは、庭で実践している堆肥化の成果をビニール袋に詰めて持参してくれました。中川原さんの取り組みはユニークです。ダンボールと新聞紙を庭に敷き、その上に生ごみと土をのせ、上に石ころを置くだけだといいます。生ごみと土は同じ分量にして、時々切り返しをする。熟成したらふるいにかける。梅の木の根元付近に散布したところ、花も実もそれまで以上に咲いたり稔ったりしたそうです。

写真は、その中川原さん（中央）が持ってきてくれた堆肥です。

## さまざまな活動

### ★元気フェスティバルに参加

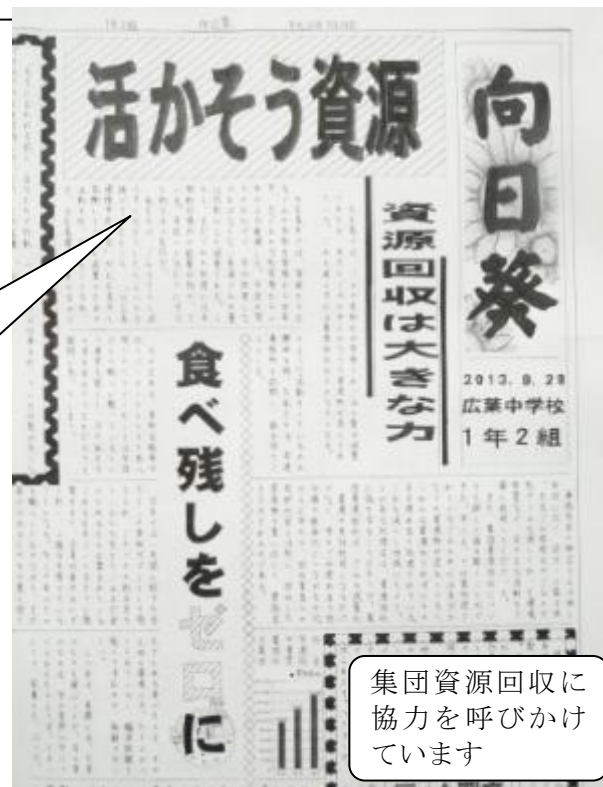
9月1日、総合体育館で開かれ、生ごみ堆肥相談コーナーを設けました。また、おからドーナツも販売。会員7人が参加

### ★広葉中学校壁新聞取材

9月28日の学校祭に合わせた1年生の壁新聞づくりの取材に応じ、集団資源回収の意義や生ごみなどの資源化について説明しました。

### ★リサイクルミニ講座（会の事務所で開催）

- ☆ベスト作り：9月9日・・・5人が参加
  - ☆モンペ作り：10月21日・・・10人参加
- もったいなくて処分できない着物をリフォームしました。



集団資源回収に協力を呼びかけています

## 今後の予定

### ダンボール箱を使って生ごみを堆肥に！講習会

第1回 11月 8日午後2時 中央会館

第2回 11月 15日午後2時 大曲会館

ダンボール箱を使って室内でできる堆肥化の方法を伝えます。ちょっとしたコツさえつかめば、ダンボール箱は堆肥作りのすぐれものです。冬の屋内は堆肥化に最適です。

市はモニターを募集しています。 問い合わせ先：市役所環境課（372-331 内線 606）

### 設立 10 周年記念 講演会

北広島環境市民の会も  
設立 10 年を迎えました。  
講演会に参加して、北広島のご  
みを見直しませんか。

#### 「北広島市のごみ処理の展望」

#### ～クリーン北広島推進審議会での議論を踏まえて～

講師：石井 一英 氏

（北海道大学准教授、前クリーン北広島審議会委員長）

日時：11月30日（土）午後2時～

会場：芸術文化ホール活動室

北広島市のごみ処理の特徴は、生ごみを分別収集してバイオガス化施設で資源としていることですが、分別収集した普通ごみは焼却せずに埋め立てています。生ごみの収集率が40パーセントしかないことは、残りの大方が普通ごみに混ぜて集められ、埋め立てられているものとみられます。ここに北広島の大きな課題があります。

講師の石井さんは廃棄物の専門家で、北広島市のごみに関する審議会の委員長を務めました。全国はもとより先進各国の廃棄物処事情に詳しく、これまでの研究経験から当市のゴミ処理問題について話していただきます。

主催：北広島環境市民の会 後援：北広島市・北広島商工会

なお、講演会后 石井先生と懇親会を行います。こちらもぜひご参加下さい。

開始時刻：午後5時～、会場：炭屋（予定）、会費：2500円

申し込み：11/15までに 神沼（375-4256）又は 林（377-5514）まで

### ★リサイクルミニ講座

靴下カバー作り

11月11日（月）午前10時～

講師：高橋富久子さん



### 北広島環境市民の会 定例会

11月23日（土）午後1時半～3時

紅葉も残り少なくなり、そろそろ雪の季節がやってきます。くれぐれも健康にご留意下さい。